

2003 年度 W G 活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	福祉施設WG	主査名：三浦昌生
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会(環境設計小委員会)	主査名：三浦昌生
設置期間	2003年4月～2005年3月	
設置目的 各年度活動計画	<p>高齢者・障害者等の地域生活を支える上で施設福祉と在宅福祉は補完し合う関係にあり、福祉施設には総合的な地域福祉の拠点としての役割が期待されている。こうした施設は利用者にとって健康的で快適な場でなければならず、この点に着目した研究者が施設の室内環境を実測した成果を学会内外で発表している。</p> <p>本WGは、特別養護老人ホームや障害者入所施設などの福祉施設に着目し、そうした施設の音・熱・光・空気等の環境要素から見た居住環境に関する研究を横断的に整理し、その環境設計のあり方をまとめることを目的とする。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	三浦昌生(芝浦工業大学) 五十嵐由利子(新潟大学) 野部達夫(工学院大学) 光田 恵(大同工業大学)	
2003年度予算	57,000円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004年3月18日(木) 参加人数4名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2002年度から作成を始めた「福祉施設に対応した環境設計のための室用途・環境要素マトリックス」に基づいて、「高齢者・障害者施設の室内環境のあり方とチェックポイント」の執筆を開始した。 ・上記の原稿に、出版企画書を添えて出版社に連絡し、出版の可能性を打診したが、良い返事は得られなかった。 ・この結果を踏まえ、今後の進め方を協議した。その結果、決定したことは次のとおり。 <p>上記の出版は、高齢者・障害者施設のユーザー(利用者、職員)を啓蒙することを主眼としているので、ユーザーが手にとりやすく、読みやすい出版形態を引き続き検討する。</p> <p>熱環境、光環境、空気環境、建築設計、空調設備の各面からユーザーの視点で高齢者・障害者施設のあり方を討論するシンポジウムを本WGで開催することとし、その準備に着手する。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の予定のうち、「環境設計という観点から望ましい高齢者・障害者施設の見学」は実施できなかった。来年度にこれを実施するとともに、上記シンポジウムに、そうした施設関係者の参加を仰ぎ、施設の現場という立場からコメントをお願いする。</p>
その他評価すべき事項	